

2012年1月4日

各 位

JXホールディングス株式会社

2012年 社長（高萩 光紀） 年頭挨拶について

本日、当社社長 高萩 光紀からグループ社員に対して実施した年頭挨拶の要旨につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 昨年を振り返って

昨年は、未曾有の大震災への対応をはじめ経営統合の真価が問われ、また当社グループの社会的使命であるエネルギー・資源・素材の安定供給の重要性が改めて浮き彫りになった1年であった。この難局に総力を結集して対応した結果、震災からの復旧・復興に目処をつけ、「統合の基礎固め」を着実に推進することができた。

2. 本年の重点課題と取り組み

迎えた本年は、2010-2012 中期経営計画（中計）の最終年度である。中長期の成長に向けた施策を展開したうえで、コスト削減をはじめ資産圧縮等あらゆる角度から効率化を徹底し、中計目標である連結経常利益3,000億円以上、ROE10%以上、ネットD/Eレシオ1.0倍を達成する。

また、当社グループの中心となる石油と金属事業はいずれも国内的には成熟産業だが世界的には成長産業であるとの認識に立ち、よりグローバルな視点から現状を改めて分析・評価したうえで、将来に向けた成長を期し、2012年度中に次期2013-2015中計を取りまとめる。

3. グループ社員への期待

グループ社員には、「安全・安定操業の継続」に加え、心構えとして次の2点をお願いする。この構造的な転換期をビッグチャンスとすべく、明るく元気に澆刺とJXグループのX（みらい）を切り拓いていこう。

（1）将来にわたる成長を自ら担う気概を持つ：

それぞれの持ち場で、変化することを恐れずいとわず、「将来にわたる成長を自ら担っていく」との気概を持って仕事にチャレンジしていくこと。

（2）時間軸を明確にしたうえで、よりスピーディーに施策を実行する：

事業を取り巻く環境の変化に即応できるよう、施策実行までを含めた時間軸を明確にしたうえで、早め早めに施策を実施していくこと。

以上